

令和7年度 第1回福津市観光産業活性化協議会 次第

|     |   |
|-----|---|
| 日 時 | 令和7年12月18日(木) 午後3時00分～  |
| 会 場 | 福津市立図書館2階 研修室2  |
| 委 員 | <input type="checkbox"/> 永松 毅文 <input checked="" type="checkbox"/> 小役丸 秀一 <input type="checkbox"/> 浄見 譲 <input type="checkbox"/> 花田 千賀子<br><input type="checkbox"/> 紺屋 良治 <input type="checkbox"/> 塩川 浩一 <input type="checkbox"/> 小島 恵 <input type="checkbox"/> 大隈 信彦<br><input type="checkbox"/> 山口 尚志 |
| 事務局 | <input type="checkbox"/> 経済産業部長 高山 康和 <input type="checkbox"/> 観光振興課長 波多野 哲平<br><input type="checkbox"/> 観光振興係長 緒方 康裕 <input type="checkbox"/> 観光振興係長 村上 尚寛   |

1. 開会

- ・委嘱状の交付
- ・委員及び事務局の紹介(資料1)
- ・会長の選任について
- ・会議録の作成方針の決定

2. 議事

(1) 福津市観光産業活性化協議会の役割について(資料2)

(2) 福津市観光産業活性化協議会委員の委嘱について

(3) 第2次観光基本計画の中間見直しについて(資料3～資料7)

3. 閉会

■次回開催日      令和8年2月4日(水) 午後3時00分～  
 会場    福津役所別館大ホールA・B

# 福津市観光産業活性化協議会委員名簿

(所管：経済産業部 観光振興課)

(順不同、敬称略)

| (フリガナ)<br>氏名          | 種別    | 備考               |
|-----------------------|-------|------------------|
| ナガマツ タケフミ<br>永松 毅文    | 学識経験者 | 九州産業大学 地域共創学部    |
| コヤクマル シュウイチ<br>小役丸 秀一 | 事業所   | 株式会社グラノ24K       |
| ハナダ チカコ<br>花田 千賀子     | 関係団体  | (一財)津屋崎豊村喜三郎記念財団 |
| コシヤ ヨシハル<br>紺屋 良治     | 事業所   | (株)九州旅客鉄道株式会社    |
| シオカワ コウイチ<br>塩川 浩一    | 事業所   | 宗像平和タクシー株式会社     |
| キヨミ ユズル<br>浄見 譲       | 関係団体  | (一社)ひかりのみちDMO福津  |
| コジマ メグミ<br>小島 恵       | 関係団体  | (一社)ふくつ観光協会      |
| オオクマ ノブヒコ<br>大隈 信彦    | 関係団体  | 福津市観光ボランティアガイド会  |
| ヤマグチ ヒサシ<br>山口 尚志     | 市民    | 公募               |

1. 名 称 福津市観光産業活性化協議会
2. 設置根拠 福津市附属機関設置条例（平成17年福津市条例第16号）
3. 任 期 令和7年12月18日～令和9年3月31日

## 福津市観光産業活性化協議会について

1. 所掌事務 福津市観光基本計画の策定・変更に係る審議に関する事項や、当該計画に基づく観光施策の進行状況の確認、評価に関する事項について、必要な協議又は調査を行い、意見を具申する
2. 構成・人数 識見を有する者のうちから市長が委嘱する 10人以内
3. 任期 2年以内（委員が欠けた場合における補欠委員の任期はその残任期間）
4. 開催頻度 年2～3回程度
5. 根拠法令 ①福津市附属機関設置条例  
②福津市観光産業活性化協議会規則
6. 報酬等 報酬（委員長5,400円、委員4,800円） ※1回あたり  
費用弁償（委員長・委員2,000円） ※1回あたり

## 第2次福津市観光基本計画 概要 (計画期間：令和2(2020)年度～令和11(2029)年度)

### ●策定の目的

第1次福津市観光基本計画(2010年度～2019年度)の考え方を引き継ぐとともに、変化し続ける社会情勢に対応するため、福津市における観光分野の総合的・計画的な指針、及び市民・事業者・団体・行政が福津市の観光振興に取り組む際の基本的な方向を示し、観光客の誘致を促進するとともに、市内の多彩な観光資源の高付加価値化や連携を図って回遊性を高め、観光事業を充実させて消費、雇用、創業、社会基盤の整備等を生み出し、地域産業の活性化を図ることを目指し策定します。

### ●背景

福岡・北九州両政令指定都市に近接し地理的条件・交通アクセスにも恵まれて、年間で570万人という決して少なくはない観光客を迎えながら、それが直ちに地域経済の浮揚やまちの活性化に結びついていない。

### 観光振興の成果と課題

#### ●観光振興の成果

H22年、福津市観光産業活性化協議会を市・商工会・観光協会・市民代表・学識経験者で組織。「もてなし力の開発」では鯛茶づけフェアをはじめとする11事業を展開。「発信力の向上」では事業に伴う広報・広告を積極的に行うとともに独自事業として観光PR動画を作成。観光入込客数は570万人超(H30現在)。

#### ●課題

##### 【観光客の周遊】

宮地嶽神社を中心に観光地を周遊できる対策

##### 【PR・宣伝】

観光地の露出やPR、特産物等の宣伝。若い世代や女性に向けた情報発信

##### 【案内・看板】

目に入りやすく分かりやすい案内や看板、商品の説明等

##### 【交通アクセス】

バスの本数を増やす以外での交通アクセスの改善

##### 【宿泊】

宿泊施設の整備や施設の情報の発信

##### 【体験・イベント】

体験できる場や他地域と重複しないイベントの内容等の工夫

##### 【インバウンド】

外国語の案内標識やメニュー等の外国人観光客への対策

##### 【連携・体制】

団体や事業者間の連携を強化、受入れ態勢を整備

### 視点・目標像

#### 【目標像】福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち

地域活性化のためには、市外の人々との観光以上移住未滿の「関係人口」をつくることが重要だと言われています。観光を産業の柱のひとつとしてとらえ直し、福津の魅力を生かした持続可能な観光という新たな経済基盤をつくりまします。

#### 【視点】地域総体産業として取り組む(地域産業の活性化、波及効果) ※継続

観光振興へ取り組むことにより、宿泊、飲食、物販、交通等の地域の観光関連産業の活性化だけではなく、地域社会全体の産業への波及効果が期待されます。具体的には、物産、飲食のための原材料を生産する農林水産業、これを加工流通するための製造業、運輸業、商品をデザイン開発する対事業所サービス業などは、観光関連産業の周辺に位置し、さらにこれらの事業所で働く人々のための生活サービスをはじめとした地域のサービス産業などへの波及もあることから、観光振興は、地域総体産業として位置づけられます。

### 基本方針

#### ○基本方針1

##### 国内外の人が何度も訪れたい魅力 を磨く(観光資源の魅力向上)

本市の財産である自然資源・歴史資源・景観資源等をしっかりと守りつつ生かして、国内外の人が何度も訪れたいまちをめざします。

#### ○基本方針2

##### 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大 する(受入環境の充実)

市内中心部に位置する宮地嶽神社エリア、海岸エリア、津屋崎千軒エリアの主要拠点の整備と、市内に点在する世界遺産の古墳群エリア、畦町エリア、自然公園やキャンプ場、直販施設への誘導を促進します。

#### ○基本方針3

##### ブランドの構築や管理、販売促進のた めの活動を強化する(効果的な情報発信)

「福津」のブランド・イメージを効果的に伝え、市内外の方々が福津に関心を持ち、愛着を感じてもらえるように、ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化します。

### 基本施策

- 地場産食材を使った福津らしい食の開発・普及
- 福津の目玉となる特産品の発掘・磨き上げ
- 自然環境資源や歴史・文化資源の魅力発掘・磨き上げ
- 自然環境、歴史・文化、産業等の資源を生かした体験、交流型観光の推進
- 異分野との連携・組み合わせ等による新たな観光資源の創出

- 観光案内の充実
- 観光交流施設・地域の機能強化
- 移動しやすい交通基盤の整備
- 市内宿泊環境の向上と改善
- 福津産品の消費拡大
- 多言語対応等の促進
- 観光人材の発掘と市民意識の向上

- 各種媒体を通じた広告・パブリシティの強化
- 市内観光関係機関・団体との連携による共同プロモーション
- 市独自の観光情報発信の強化
- 自治体等との連携による情報発信及び誘客推進

### 推進体制

- 福津市観光産業活性化協議会の再編
- (一社)ふくつ観光協会の機能強化と日本版DMOに相当する組織・事業実施体制の確立

### 成果指標

#### ○観光入込客数

※福岡県観光入込客数推計調査報告分

5,733千人 ⇒ 6,703千人  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

#### ○観光消費額

※1人あたり旅行消費額×観光入込客数

14,378百万円 ⇒ 18,054百万円  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

#### ○延べ宿泊者数

※福岡県観光入込客数推計調査報告分

14千人 ⇒ 100千人  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

#### ○満足度

※基礎調査結果

81.6% ⇒ 86.6%  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

#### ○リピーター率

※基礎調査結果

64.4% ⇒ 69.4%  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

■ : 実施    ▣ : 並行（実施・調査検討）

| 基本方針                  | 基本施策                                  | 取組時期<br>中期 |    |    | R4年度の取組み（実績）   | R5年度の取組み（実績）  | R6年度の取組み（実績）  | R7年度の取組み（実績/予定）  |
|-----------------------|---------------------------------------|------------|----|----|--|---|---|--|
|                       |                                       | R5         | R6 | R7 |  |   |   |  |
| 国内外の人が何度も訪れたいくなる魅力を磨く | (1) 地場食材を使った福津らしい食の開発・普及              | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5/12～6/19 「ふくつの鯛茶づけフェア」(DMO)</li> <li>7/30～7/31 「さざえまつり」(いいざい)</li> <li>10/15～11/30 「光の道開運スイーツフェア」(DMO)</li> <li>2/15～3/19 「あったか福津イケ麺フェア」(DMO)</li> <li>3/18 「ふくつスイーツウォーキング」(観光協会)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/9、4/23 「いちごウォーク」(観光協会)</li> <li>5/6～5/7 「ふくつ鯛まつり」(いいざい)</li> <li>5/17～6/25 「ふくつの鯛茶づけフェア」(DMO)</li> <li>7/22～7/23 「さざえ祭り」(いいざい)</li> <li>10/11～11/19 「光の道開運スイーツフェア」(DMO)</li> <li>1月～3月 「福津のいちごPR」(DMO)</li> <li>2月 「おいしい福津実行委員会」発足 (DMO)</li> <li>3/3 「ふくつスイーツウォーキング」(観光協会)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/7、4/21 「いちごウォーク」(観光協会)</li> <li>5/17～6/30 「ふくつの鯛茶づけフェア」(DMO)</li> <li>9/14～11/10 「筑前玄海イカフェア」(DMO)</li> <li>1月～3月 「福津の食に関するフェア・PR」(DMO)</li> <li>2/18～3/30 「光の道開運スイーツフェア」(DMO)</li> <li>3/16 「ふくつスイーツウォーキング」(観光協会)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/6、4/20 「いちごウォーク」(観光協会)</li> <li>5/16～6/29 「ふくつの鯛茶づけフェア」(DMO)</li> <li>9/13～11/10 「筑前玄海イカフェア」(DMO)</li> <li>11/8 「ふくつスイーツウォーキング」(DMO)</li> <li>1月～3月 「福津の食に関するフェア・PR」(DMO)</li> <li>2月～3月 「光の道開運スイーツフェア」(DMO)</li> </ul> |
|                       | (2) 福津の目玉となる特産品の発掘・磨き上げ               | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「福津の極み」認定事業（商工会）全39件</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「福津の極み」認定事業（商工会）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「福津の極み」認定事業（商工会）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「福津の極み」認定事業（商工会）</li> </ul>   |
|                       | (3) 自然環境資源や歴史・文化資源の魅力発掘・磨き上げ          | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>福津市の新たな観光資源を生かした魅力発信業務（意外とフクツ）</li> <li>新原・奴山古墳群フォトキャンペーン (DMO)</li> <li>ふくつの古墳まつり 約4,200名参加（観光協会）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>3/3、3/17 「ふくつの古墳まつり」(観光協会)</li> <li>インスタフォトコン (DMO)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>3/2 「ふくつの古墳まつり」(観光協会)</li> <li>インスタフォトコン (DMO)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>3/8 「ふくつの古墳まつり」(観光協会)</li> <li>8/30～8/31 「福津バル2025」(DMO・観光協会)</li> </ul>  |
|                       | (4) 自然環境、歴史・文化、産業等の資源を生かした体験、交流型観光の推進 | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「福津くらしの旅」実施 7本、合計52名参加 (DMO)</li> <li>体験型SUP&amp;カフェツアー 7名参加 (DMO)</li> <li>宮地嶽自然歩道トレッキング 4本、合計144名参加（観光協会）</li> <li>福津市モニターバスツアー 19名参加（観光協会）</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>福津暮らしの旅 (DMO)</li> <li>暮らしの旅宿泊モニターツアー (DMO)</li> <li>福津市モニターバスツアー（観光協会）</li> <li>宮地嶽自然歩道トレッキング（観光協会）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>福津暮らしの旅 (DMO)</li> <li>体験型SUP&amp;カフェツアー (DMO)</li> <li>暮らしの旅宿泊モニターツアー (DMO)</li> <li>宮地嶽自然歩道トレッキング（観光協会）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>宮地嶽自然歩道トレッキング（観光協会）</li> <li>福津めぐり～宮地嶽神社の風鈴まつりを見に行こう～（観光協会）</li> </ul>  |
|                       | (5) 異分野との連携・組み合わせ等による新たな観光資源の創出       | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドラマロケ候補地等の情報提供（フィルムコミッションへ情報提供）→採用0件</li> <li>ふくつ花火アートイリュージョン 約3,500人参加（観光協会）</li> <li>JRウォーク 2本、合計2,050名参加</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドラマロケ候補地等の情報提供</li> <li>JR九州ウォーキング 2本 (6/3、10/14)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドラマロケ候補地等の情報提供</li> <li>JR九州ウォーキング 2本 (6/1、10/5)</li> <li>玄海灘HANABI (観光協会)</li> <li>10/12～10/13 「ふくつフェスティバルinイオンモール福津」(観光協会)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドラマロケ候補地等の情報提供</li> <li>JR九州ウォーキング 2本 (5/31、9/27)</li> <li>10/4～10/5 「ふくつフェスティバルinイオンモール福津」(観光協会)</li> </ul>  |
| 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する   | (1) 観光案内の充実                           | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施 全5回、新規2名</li> <li>JNTO外国人観光案内所として「津屋崎千軒なごみ」の登録</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施</li> <li>JNTO外国人観光案内所として「ふくくる」の登録更新</li> <li>JNTO外国人観光案内所として「津屋崎千軒なごみ」の登録更新 (DMO)</li> <li>「観光案内所@光の道」開業 (DMO)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施</li> <li>JNTO外国人観光案内所として「ふくくる」運営</li> <li>JNTO外国人観光案内所として「津屋崎千軒なごみ」運営</li> <li>「観光案内所@光の道」運営 (DMO)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施</li> <li>JNTO外国人観光案内所として「ふくくる」運営</li> <li>JNTO外国人観光案内所として「津屋崎千軒なごみ」運営</li> <li>「観光案内所@光の道」運営 (DMO)</li> </ul>  |
|                       | (2) 観光交流施設・地域の機能強化                    | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな灯り展」(津屋崎地区)</li> <li>「山笠展」(津屋崎地区)</li> <li>古民家の利活用</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな灯り展」(津屋崎地区)</li> <li>「山笠展」(津屋崎地区)</li> <li>古民家の利活用 (R5/4/1～Ekadbo「」)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな灯り展」(津屋崎地区)</li> <li>「山笠展」(津屋崎地区)</li> <li>古民家の利活用 (R5/4/1～Ekadbo「」)</li> <li>津屋崎豊村善三郎記念財団から受託した観光庁地域観光新発見事業を実施 (DMO)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「小さな灯り展」(津屋崎地区)</li> <li>「山笠展」(津屋崎地区)</li> <li>古民家の利活用 (R5/4/1～Ekadbo「」)</li> <li>風鈴祭り門前町ナイト (門前町地区)</li> </ul>   |
|                       | (3) 移動しやすい交通基盤の整備                     | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新原・奴山古墳群や歴史資料館を周遊するためのタクシー代を補助する事業を継続実施(139件)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新原・奴山古墳群や歴史資料館を周遊するためのタクシー代を補助する事業を継続実施</li> <li>レンタサイクルの実施 (DMO、観光協会)</li> <li>サイクルマップ作成 (DMO)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>新原・奴山古墳群や歴史資料館を周遊するためのタクシー代を補助する事業を継続実施</li> <li>レンタサイクルの実施 (DMO、観光協会)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新原・奴山古墳群や歴史資料館を周遊するためのタクシー代を補助する事業を継続実施</li> <li>レンタサイクルの実施 (DMO、観光協会)</li> </ul>   |
|                       | (4) 市内宿泊環境の向上と改善                      | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新規参入事業者への相談・支援</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>国及び県などからの宿泊施設改善補助金等の情報の共有</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>国及び県などからの宿泊施設改善補助金等の情報の共有</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>国及び県などからの宿泊施設改善補助金等の情報の共有</li> <li>民間事業者への大峰山キャンプ場貸与</li> </ul>   |
|                       | (5) 福津製品の消費拡大                         | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「手みやげや ふくつ本舗」の運営（観光協会）</li> <li>ふるさと納税寄付促進</li> <li>地域資源活用事業「海を食べるクッキー」</li> <li>農水産物生産者支援事業（いいざい）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄付促進</li> <li>地域資源認知拡大業務（商工振興課）</li> <li>農水産物生産者支援事業（いいざい）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄付促進</li> <li>福津産品流通促進業務（いいざい）</li> <li>新たな魅力開発発信事業</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄付促進</li> <li>福津産品流通促進業務（いいざい）</li> <li>新たな魅力開発発信事業</li> </ul>  |
|                       | (6) 多言語対応等の促進                         | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>多言語マップ「FUKUTSU TOURIST MAP」改定 (DMO)</li> <li>海外PR会（タイ、シンガポール）またはインバウンド向け国内PR会等への出店やガイドブックへの出稿、取材協力等 (DMO)</li> <li>インバウンド体験型個人メニュー等の造成 (DMO)</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>多言語マップ改訂、増刷 (DMO)</li> <li>海外PR会またはインバウンド向け国内PR会等への出店やガイドブックへの出稿、取材協力、インフルエンサー招致事業への協力等 (DMO)</li> <li>観光庁支援メニューによるインバウンド体験型メニューのコンテンツ作成、予約システムの構築、事業者セミナーの開催 (DMO)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>多言語マップ新規作成・改訂・増刷 (DMO)</li> <li>海外PR会またはインバウンド向け国内PR会等への出店やガイドブックへの出稿、取材協力、インフルエンサー招致事業への協力等 (DMO)</li> <li>インバウンド向け体験型メニューのモニター実証、事業者セミナーの開催 (DMO)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>多言語マップ改訂、増刷 (DMO)</li> <li>海外PR会またはインバウンド向け国内PR会等への出店やガイドブックへの出稿、取材協力、インフルエンサー招致事業への協力等 (DMO)</li> <li>観光庁補助事業による「豊村造酒醸造所施設」「旧玉乃井旅館」「藍の家」を活用したインバウンド向け体験型コンテンツモニター実証、事業者セミナーの開催 (DMO)</li> </ul>                          |
|                       | (7) 観光人材の発掘と市民意識の向上                   | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施→全5回、新規1名</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアガイド養成講座の実施</li> </ul>   |
| たづめの活動の構築強化や管理、販売促進の  | (1) 各種媒体を通じた広告・パブリシティの強化              | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「むなふ」や「サンデー」などのフリーペーパーへ情報提供</li> <li>テレビ番組やラジオ、情報誌、ネット媒体等で紹介</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「むなふ」や「サンデー」などのフリーペーパーへ情報提供</li> <li>テレビ番組やラジオ、情報誌、ネット媒体等で紹介</li> <li>「福津ウェブ」による福津市観光情報の一体的情報の発信、各媒体への情報の提供</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「むなふ」や「サンデー」などのフリーペーパーへ情報提供</li> <li>テレビ番組やラジオ、情報誌、ネット媒体等で紹介</li> <li>「福津ウェブ」やSNSによる福津市観光情報の一体的情報の発信、各媒体への情報の提供</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「むなふ」や「サンデー」などのフリーペーパーへ情報提供</li> <li>テレビ番組やラジオ、情報誌、ネット媒体等で紹介</li> <li>「福津ウェブ」やSNSによる福津市観光情報の一体的情報の発信、各媒体への情報の提供</li> </ul>  |
|                       | (2) 市内観光関係機関・団体との連携による共同プロモーション       | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>県内外PR会等への参加</li> <li>第35期竜王戦七番勝負第5局 (DMO)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「福岡・大分ディスティネーションキャンペーン」(5/10別府市、3/3広島市)</li> <li>「福岡・大分ディスティネーションエクスカーション」(バス移動中に案内、5/11福津市、宗像市)</li> <li>「福岡・大分ディスティネーションキャンペーン」商談会 (10/30大阪市、11/15福岡市、1/12福岡市)</li> <li>九州観光機構 (6/15PRブース出展、8/29素材相談会)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「福岡・大分ディスティネーションキャンペーン」(4/5-4/6博多駅、4/20門司港駅、5/19大阪駅)</li> <li>「よかバス商談会」(7/11福岡市)</li> <li>九州観光機構 (8/28素材相談会)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県観光連盟の一員として国内外のPR会等へ参加</li> <li>「よかバス商談会」(6/3、11/26)</li> <li>九州観光機構 (8/22素材相談会)</li> </ul>   |
|                       | (3) 市独自の観光情報発信の強化                     | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報ふくつでの定期的発信</li> <li>SNS（市公式Instagram、フェイスブック、LINE）での発信</li> <li>定例記者発表での発信</li> <li>食のポータルサイト「まちメシ」を使った飲食店情報の発信</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報ふくつでの定期的発信</li> <li>SNS（市公式Instagram、フェイスブック）での発信</li> <li>定例記者発表での発信</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報ふくつでの定期的発信</li> <li>SNS（市公式InstagramやLINE）での発信</li> <li>定例記者発表での発信</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報ふくつでの定期的発信</li> <li>SNS（市公式Instagram、フェイスブック）での発信</li> <li>定例記者発表での発信</li> </ul>  |
|                       | (4) 自治体等との連携による情報発信及び誘客促進             | ■          | ■  | ▣  | <ul style="list-style-type: none"> <li>筑前玄海観光推進協議会事業（筑前玄海イカフェアの開催、10/1～11/30）</li> <li>新たな観光地域づくり事業「看板商品の創出事業（玄海灘イカ）」(福岡県)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>筑前玄海観光推進協議会事業（筑前玄海イカフェアの開催、9/17～11/10）</li> <li>九州栄養福祉大学との包括連携協定（いいざい）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>筑前玄海観光推進協議会事業（筑前玄海イカフェアの開催、9/14～11/10）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>筑前玄海観光推進協議会事業（筑前玄海イカフェアの開催、9/14～11/10）</li> </ul>   |

## 目標値ごとの年次推移(実績)

| 項目                  | H31<br>【基準年】 | R2調査<br>(H31.1~R1.12) | R3調査<br>(R2.1~R2.12) | R4調査<br>【中間見直し年】<br>(R3.1~R3.12) | R5調査<br>(R4.1~R4.12) | R6調査<br>(R5.1~R5.12) | R7<br>【中間見直し年】<br>(R6.1~R6.12) |
|---------------------|--------------|-----------------------|----------------------|----------------------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------|
| 観光入込客数<br>(単位:人)    | 5,732,700    | 5,709,000             | 4,733,700            | 4,761,900                        | 5,837,100            | 6,438,000            | 6,843,400                      |
| 平均観光消費額単価<br>(単位:円) | 2,508        | -                     | -                    | 2,508                            | 3,370                | -                    | -                              |
| 観光消費額<br>(単位:百万円)   | 14,378       | -                     | -                    | 11,943                           | 19,671               | 21,696               | 23,062                         |
| 延べ宿泊者数<br>(単位:人)    | 13,700       | 16,800                | 18,900               | 21,100                           | 24,800               | 22,700               | 22,300                         |
| 満足度                 | 81.6%        | -                     | -                    | 90.1%                            | 87.5%                | 85.1%                | -                              |
| リピーター率              | 64.4%        | -                     | -                    | 64.0%                            | 54.1%                | 76.4%                | -                              |

※網掛けの項目は、調査実施年のみ記載。

※各年の数値実績は、前年の観光入込客数調査などを基に算出。

※R5調査の平均観光消費額単価は、「令和4年度第2次福津市観光基本計画進捗状況確認調査」のアンケート結果による算出。

## &lt;参考&gt;

## 第2次福津市観光基本計画より抜粋

| 項目     | 現状値       | 中間目標値     | 中間目標値     | 最終目標値     |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|        | (基準年)     | (令和4年)    | (令和7年)    | (令和11年)   |
| 観光入込客数 | 5,733千人   | 6,024千人   | 6,315千人   | 6,703千人   |
| 観光消費額  | 14,378百万円 | 15,559百万円 | 16,785百万円 | 18,054百万円 |
| 延べ宿泊者数 | 14千人      | 40千人      | 66千人      | 100千人     |
| 満足度    | 81.6%     | 83.1%     | 84.6%     | 86.6%     |
| リピーター率 | 64.4%     | 65.9%     | 67.4%     | 69.4%     |

※現状値及び目標値の算出根拠・方法

| 項目     | 算出方法                | 備考        |
|--------|---------------------|-----------|
| 観光入込客数 | 平成30年観光入込客数推計調査報告実績 | 伸び率年1.7%  |
|        | × 伸び率               |           |
| 観光消費額  | 平成30年1人あたり旅行消費額     | 消費額       |
|        | × 伸び率 × 観光入込客数      | 伸び率年1.0%  |
| 延べ宿泊者数 | 平成30年観光入込客数推計調査報告実績 | 伸び率年61.5% |
|        | × 伸び率               |           |
| 満足度    | 平成30年基礎調査結果実績       | 伸び率年0.5%  |
|        | + 伸び率               |           |
| リピーター率 | 平成30年基礎調査結果実績       | 伸び率年0.5%  |
|        | + 伸び率               |           |

令和5年3月28日

福津市長 原崎 智仁 様

福津市観光産業活性化協議会  
会長 千 相哲

## 第2次福津市観光基本計画の中間見直しの結果について（報告）

このことについて、下記のとおり報告します。

## 記

## 1, 第2次観光基本計画進捗状況調査の結果

令和4年度に実施した「第2次福津市観光基本計画に係る進捗状況確認調査」の結果について確認しました。これらの調査結果データを基にして、市の活性化に向けてどのように取り組んでいくのかを明確にしていく必要があると考えられます。本協議会の所見としては、次のとおりになります。

- ・自動車による来訪が多い結果から、道路から視認できる標示板等のハード面における観光客受け入れ態勢の整備が必要であると考えます。
- ・回復傾向にあるインバウンド対応としては、多言語対応の改善・強化が求められます。特に、韓国や中国といったアジア圏域に対応するものが現状不十分であると見受けられます。
- ・調査実施にあたって、調査内容及び対象者に応じて、定量調査と定性調査を選別することが必要であると考えます。
- ・宮地嶽神社への参拝客が多いことは以前から変わっていませんが、そこから他の観光スポットへ周遊を促進する取り組みが必要であると考えます。
- ・観光スポットの中で、まだトイレが洋式化されていないところがあるため、計画的な整備が必要であると考えます。
- ・観光客を集めるためには、宿泊施設や交通手段などの環境整備は欠かせません。中でも、宿泊施設が少ない本市の現状では、滞在時間を増やし、観光消費額の増加につなげることが難しく、上質な宿泊施設の誘致に取り組む必要があります。

## 2、令和4年度目標に対する達成状況の確認

---

令和3年度実績による観光入込客数調査及び令和4年度第2次観光基本計画進捗状況調査の結果を踏まえて、中間目標値に対する計画進捗状況の確認と見直し等について審議しました。

「満足度」については、中間目標値を上回る結果となっていました。それ以外の項目は達成できていませんでした。「リピーター率」については、中間目標値には達しませんでした。97%以上の達成率ということで、今後、市の観光施策や関係団体の活動等により目標値の達成を期待します。

「観光入込客数」及び「延べ宿泊者数」については、目標値を大幅に下回る結果となっていますが、これは新型コロナウイルス感染症の影響によるものと想定されます。

また、「観光消費額」を算出する上で基礎データとなる「観光消費単価」及び「観光入込客数」の設定について、今後の調査方法も含めて再検討の必要があると考えます。

## 3、目標数値に関する審議の結果

---

本計画は計画期間を令和2年度から令和11年度までの10年間としており、目標数値を設定しています。しかしながら、令和元年度後半から世界規模で起こった新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式への転換や、国際的な往来の制限の実施等により、国内外における観光客数が減少し、観光産業全体が大きな影響を受けました。本市においても令和4年度調査では、当初計画していた目標値を大幅に下回る結果となっています。

この世界規模の未曾有の事態は、計画策定当初は想定できないものであったことから、計画目標値を修正するか否かについて本協議会で審議しました。

昨今、ワクチン接種の普及などを踏まえて、政府は令和5年度に感染症法上の分類を5類へ引き下げる見通しを示しています。また、令和5年1月に日本政府観光局（JNTO）は訪日客数の減少に歯止めが掛かり、インバウンドが順調に回復していることを発表しています。これら観光産業の盛り返しが期待できることに合わせて、国や県も補助事業を拡大し、新たな観光コンテンツ造成や魅力発信業務の後押しも実施されています。本市においても、計画目標値に向けて、観光事業に関する施策を展開していく意向を示しています。

以上のことを踏まえ、今回の中間見直しにおいて、当初目標値を修正せず、今後の観光産業の回復状況とその後押しとなる本市の施策に期待します。

令和 7 年 3 月 17 日

福津市長 様

福津市観光産業活性化協議会  
会長 永松 毅 文

## 福津市観光産業活性化協議会結果報告書（令和 5 年度～令和 6 年度）

このことについて、下記のとおり報告します。

## 記

1、協議の経過及び主な内容

- ・令和 5 年度 第 1 回：委嘱状の交付、本協議会の役割の確認  
第 2 次福津市観光基本計画の確認、観光施策の確認  
観光における課題の抽出と確認
- ・令和 5 年度 第 2 回：観光情報の共有における課題と対応の確認  
観光情報の発信における課題と対応の確認
- ・令和 6 年度 第 1 回：観光施策の確認、観光情報の共有と発信の方法の確認  
観光情報サイト「福津ウェーブ」の共有と確認
- ・令和 6 年度 第 2 回：令和 6 年度福津市観光入込客数調査結果の確認  
福津観光の「核」について
- ・令和 6 年度 第 3 回：他自治体等の観光周遊に関する事例の確認  
令和 5 年度第 1 回からの振り返り

2、協議の結果（成果）

今後の観光振興に向け、共通課題である「観光情報の共有と発信」をテーマに協議することに決め、福津市の観光に関わる行政や団体との役割と関係性を整理した上で、課題解決のための方向性等について議論しました。

## (1) 観光情報の一元化

福津市の観光情報が一元化できていない状態であるため、一般社団法人ひかりのみち DMO 福津（以下、「DMO」という。）が観光振興の「旗振り役」となり、観光情報の発信・PR を進めることを確認しました。また、DMO が運営する「福津ウェーブ」を福津市の観光情報オフィシャルサイトとして位置付け、観光情報の一元化を推進していくことが適当であると判断しました。具体的な進め方としては、各観光団体や事業者が保有する情報を DMO に情報提供することで観光情報の集約を図り、一元化された観光情報として発信して

いくスキームを実践できるよう取り組んでいくことを協議会の意見としています。

### (2) 福津市の観光振興における「核」の設定

福津市の観光振興を進めるためには、観光の「核」となるものを設定する必要があるため、市内の観光スポットの多くが海に関連したストーリーを有していることや福津市の観光から「海」が切り離せないものであることから、福津市の観光振興の「核」として、「海から生まれたまち福津」というキャッチフレーズを設定し、今後の福津市の観光PRに活用していくことを提案します。

### (3) 市内への来訪者の回遊性向上

令和6年度福津市観光入込客数調査の結果、福津市を訪れる多くの観光客が宮地嶽神社に集中し、他の観光施設との来訪者数に大きな差があることが判明したため、市内への来訪者の回遊性を向上させるための取り組みが必要になります。

具体的には、レンタサイクルやタクシー定額プランの活用や、JR福間駅～海岸～宮地嶽神社を周遊するバスや観光のためのふくつミニバスの日曜日運行、ふくつミニバスの効果的なラッピングを検討する必要があると考えます。また、来訪者にとって、視認性の高い案内表示やサインなどのハード整備をしていくことも重要です。

さらに、福津市内の回遊だけでなく、近隣自治体と一体となった広域な視点で観光周遊を推進し、一次産業をも含めた地域全体の産業を盛り上げていく取り組みを考えていく必要があると考えます。

## 3、結論

協議の結果、DMOが福津市の観光振興の「旗振り役」となり、福津市観光情報オフィシャルサイト「福津ウェブ」を活用して観光情報の一元化を推進すること、本市の観光振興における「核」として「海から生まれたまち福津」をPRしていくことを提案します。

今後は、「海から生まれたまち福津」のイメージ戦略を基にして、福津市の観光資源をPRし、市内の観光地をより魅力的に発信していくことが求められます。また、本市への来訪者の多くの市内回遊性が不十分であるという課題の解決に向け、観光客が福津市内を広く回遊できるよう、委員からの意見や他地域の成功事例を参考にし、福津市に適した観光プランの整備や回遊促進の施策を引き続き、検討していくことも必要と考えます。

以上のことを踏まえ、新たな施策を実行することに加えて、観光に関わる人・団体が一層連携・協力し、福津市の観光振興を推進し、地域経済の活性化へつなげていくことを目指すべきと考えます。

また、福津市内に留まらず、近隣自治体と協力した広域観光連携も必要な方向性のひとつであると提言します。